

イガ再資源化事業研究所／繁栄商事／マルゼン

食品Rループ構築で業務提携

リキッド飼料でブランド豚肥育

食品廃棄物の飼料化を行うイガ再資源化事業研究所（三重県伊賀市、☎0595・45・8226）と、廃棄物収集運搬業の繁栄商事（三重県四日市市、☎059・345・5311）、マルゼン（三重県津市、☎059・

228・9036）は、業務提携を結び、食品リサイクルループの構築への取り組みを開始した。

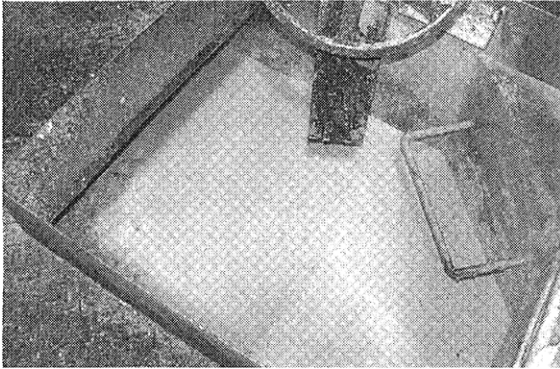
イガ再資源化事業研究所の処理能力は、1日当たり100ト。乳酸発酵させて完成した液体飼料（リキッドフィード）

は全量、グループ会社の養豚場「トントンファーム」で使用する。トントンファームでは現在、約3000頭の豚を肥育している。豚肉はオリジナル

ブランドの「忍茶豚」として販売を行っている。

今回の業務提携では、繁栄商事が県北勢部、マルゼンが県中南

勢部を担当し、スーパーマーケットやコンビニエンスストア、飲食店などから食品廃棄物の回収を行う。両社は、それぞれ専用の「食品リサイクル対応車両」を保有。また、食品リサイクル事業開始に当たり、保冷コンテナや計量機なども整備している。（詳細記事は31面に掲載）



液体肥料の製造タンク

オリジナル